



◆ 三井京子 年譜・アルバム ◆



昭和11年 甲府市中央2丁目に生まれる。

昭和22年 戦後、文化の灯活動“児童連盟”の舞踊部門で初舞台を踏み、「出船」を一人で踊る。母の手作りの衣装を着て、音と光の中、夢でも見ているかのように踊り拍手がわいた。この時の強い感動が舞踊への開眼だった。

昭和23年 バレエ映画「白鳥の死」に感動し、バレエの世界に強く憧れる。

昭和24年 中学入学時に八王子の富田澄子にバレエの手ほどきを受ける。

昭和28年 甲府第二高等学校に通学の側ら、土曜・日曜日に東京・代々木上原の服部島田バレエ団に通い個人レッスンを受ける。

昭和30年 高校卒業後、服部・島田バレエ団のバレエ団員になり、バレエ団公演「くるみ割り人形」、「令嬢ジュリー」、「ブルーダニエーブ」に出演。後楽園アイスパレスの“ダンシングウオーター”による「白鳥の湖」、「春の声」に出演。

甲府市中央3丁目の自宅を改装し「服部・島田バレエ団所属三井京子バレエ研究所」を開設。甲府中央劇場にて、第1回三井京子バレエ研究所発表会を開催。島田広振付「くるみ割り人形組曲」を上演。

昭和31年 NHK招聘“第1回イタリア歌劇団公演”「アイーダ」に出演。

服部島田バレエ団公演「シルヴィア」、「ボレロ」などに出演。

第2回発表会開催。服部智恵子振付「ペルシャの市場」を踊る。

昭和32年 中央大学英文科に入学。後楽園球場にて“星空の下の大音楽会”「ダッタン人の踊り」に出演。

県民会館大ホールにて、第3回発表会開催。島田廣振付「七色の蝶」を踊る。

昭和33年 国立競技場にて“七万人の夕涼み”「レ・シルフィード」に出演。

第4回発表会開催。「東洋風舞曲」、「調馬」を踊る。





昭和34年 “第2回イタリア歌劇団公演”「椿姫」、「カルメン」等に出演。

第5回発表会開催。島田廣振付「くるみ割り人形」。
山梨日日新聞社野口二郎会長のもと山梨県洋舞協会が結成され、井上陽子、吉村辰彦、若尾多香、足立四津子、三井京子が入会。

以後、長年にわたり会員として、多くの活動を通して、洋舞界及び芸術文化の発展に尽くした。

昭和35年 第6回発表会開催。

昭和36年 第7回発表会開催。

結婚を機に研究所を一時閉める。

昭和43年 甲府市丸の内にて「三井京子バレエ研究所」を再開。及び「三井京子ビューティー・プランニング・サロン」を開設。

昭和44年 富田澄子にフラメンコを学ぶ。

昭和45年 第8回発表会開催。服部智恵子振付「ワルツ」、「ルースカヤ」、富田澄子振付「アレグリアス」、「サパテアード」、島田廣振付「七色の蝶」を踊る。服部智恵子振付「愛の夢」を上演。

昭和47年 第9回発表会開催。服部智恵子振付「サロメ」、「瀕死の白鳥」、島田廣振付「恋は魔術師」を踊る。他に島田廣振付「仮面舞踏会」、「美しき森の歌」を上演。

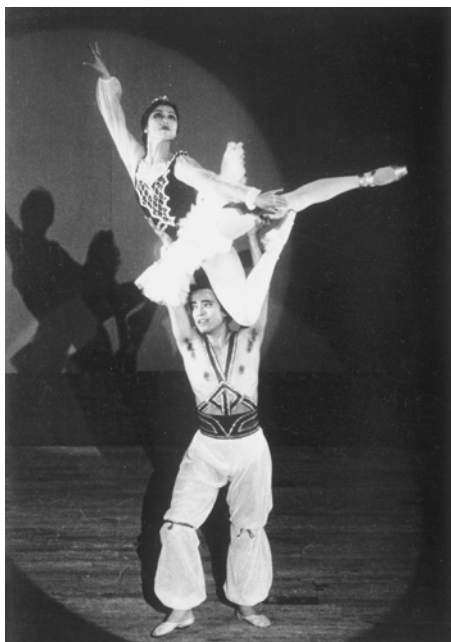
昭和49年 第10回発表会開催。富田澄子振付「プレリアス」、島田廣振付「ボレロ」を踊る。他に島田廣振付「グラン・ディベルティスマン」、「踊る人形」を上演。

昭和50年 三井京子バレエ研究所石和教室開設。

昭和51年 第11回発表会開催。島田廣振付「スプリング・ボイス」、「ジブシー」、他に「海賊」よりグラン・パ・ド・ドウを踊る。他に服部智恵子振付「バ・カンカン」、「クラシック・ヴァリエーション」、島田廣振付「白の組曲」ショパン曲を上演。

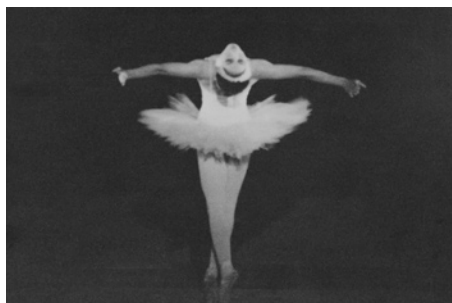
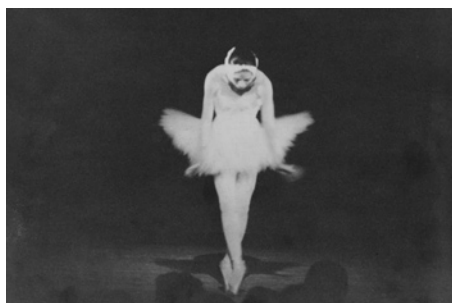
昭和52年 渡欧、スペインでフラメンコの研鑽に励む。

第12回発表会開催。島田廣振付「エジプト物語」を踊る。鈴木寿雄をゲストに迎える。以後全ての発表会に出演を依頼。他に島田廣振付「白の組曲」モーツァルト曲。三井京子振付「お





- 昭和54年 葉子の世界」を上演。
第13回発表会開催。「ボレロ」を再演。他に服部智恵子振付「春」、「マーチ」。島田広振付「レ・シルフィード」。三井京子振付「マンガの国」を上演。
- 昭和55年 第14回発表会開催。服部智恵子振付「瀕死の白鳥」、島田広振付「カルメン」を踊る。他に島田広振付「ガラ・パフォーマンス」、三井京子振付「日本の歌」を上演。
三井京子バレエ研究所山梨市教室開設。
- 昭和56年 甲府市真川本町に研究所の本部・甲府教室を開設。
- 昭和57年 第15回発表会開催。島田広振付「美しきダニュープ」「踊子」を踊る。他に「白の組曲」。
第1回山梨市教室発表会開催。
- 昭和58年 山梨県洋舞フェスティバルに参加、島田広振付「シンフォニア」に出演。
- 昭和59年 第2回山梨市教室発表会開催。
恩師服部智恵子没。
- 昭和60年 第16回発表会開催。「海賊」よりグラン・パ・ド・ドゥを踊る。他に森龍朗振付「ぶどうのひと房」。三井京子振付「ワルツ」。
- 昭和61年 第3回山梨市教室発表会開催。
- 昭和62年 三井京子35周年記念公演第17回発表会開催。「白鳥の湖」第二幕のアダージオ、島田広振付「カルメン」、及びタツヤ・ホセ振付のフラメンコを踊る。他に森龍朗振付「水晶の花」、「青い霧」。
- 昭和63年 第4回山梨市教室発表会開催。
- 平成1年 第18回発表会開催。「美しきダニュープ」に出演。森龍朗振付「笛吹川」。
- 平成2年 山梨県洋舞フェスティバルに参加、森龍朗振付「夢...しあわせ」を上演。
- 平成3年 第19回発表会開催。「ボレロ」再演。森龍朗振付「初夏のさざめき」。
- 平成5年 第20回記念三井京子バレエ研究所発表会開催。鈴木寿雄振付「コッペリア」全幕を上演し「祈り」を踊る。
- 平成7年 第21回発表会開催。鈴木寿雄振付「白雪姫」、「ぶどうのひと房」再演。
- 平成9年 三井京子バレエ研究所創立





40周年記念公演第22回発表会開催。創作バレエ「春の夜の夢」(原作・志村康子、台本・磯部省吾、作曲・藤原豊)を自ら企画・構成・演出・振付・主演すると共に「ハンガリア舞曲集」を振付する。演奏・甲府市交響楽団。他に「白鳥の湖」第二幕、第三幕。

平成11年 第23回発表会開催。佐々木大をゲストに迎え「ドン・キホーテ」全幕を上演し、「ジプシー」を踊る。鈴木寿雄振付「ザ・スティンク」。

平成13年 第24回発表会開催。武石光嗣をゲストに迎え「ジゼル」全幕を上演し、ベルタを好演。

平成15年 三井京子舞踊生活50周年記念公演第25回発表会開催。佐々木大をゲストに迎え「ラ・バヤデール」第三幕を上演。島田広振付「美しきダニユープ」母親役、及び「ボレロ」を踊る。

平成17年 第26回発表会開催。「エジプト物語」「侍女」役で出演。他に「白雪姫」再演。

平成19年 第27回発表会開催。「くるみ割り人形」第二幕「スペインの踊り」を踊る。「水晶の花」再演。

平成20年 股関節を患い歩行が困難になり、股関節両側の人工関節手術を受ける。

平成21年 第28回発表会開催。「コッペリア」第三幕、森龍朗振付「陽に向かって」。

平成23年 第29回発表会開催。「白鳥の湖」第二幕、第三幕を上演し、王妃役で出演。森龍朗振付「川辺のたわむれ」。

平成25年 1月19日逝去。
享年77才。

※社団法人日本バレエ協会永久会員

※山梨県芸術文化協会会員

※県内テレビ番組にレギュラー出演

三井京子がバレエを一筋に愛し、沢山の苦しみを乗り越え、厳しさを守り抜くことに自分の幸せを見つけ出しながら60年の舞踏生活を貫けたのは、両親の理解と協力はもちろん、恩師である日本のバレエ界のママ・服部智恵子先生との出会いがあったからと言えるだろう。

そして恩師島田廣先生の偉大な作品は宝物であり、同門森龍朗先生の“山梨”を謳った美しい作品など多くのバレエが三井京子バレエ研究所の色合いと伝統を創ってきたのである。

第20回発表会以降、鈴木寿雄先生は「コッペリア」、「ドン・キホーテ」、「ジゼル」、「ラ・バヤデール」、「くるみ割り人形」、「白鳥の湖」等、発表会の主要作品の振付指導をすると共に、レッスン講師を務めて生徒の教育に力を注ぎ、全般にわたり三井京子を助けて今日に至っている。